

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和元年 7月3日
 独立行政法人福祉医療機構
 経営サポートセンター長 岐部 宏幸
 経営サポートセンター リサーチグループ
 グループリーダー 吉崎 奈美
 担当 小寺・橘・秦 (電話) 03-3438-9932
 (FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2019年6月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2019年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。
 詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 548 法人
- 調査事項：・社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測
 ・社会福祉法人および特別養護老人ホームの設備投資の状況
- 回答数：521
- 有効回答数：521
- 有効回答率：95.1%
- 実施期間：2019年6月3日（月）～2019年6月19日（水）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【職員の採用状況】

- 社会福祉法人全体で今年度に採用した新卒者は平均3.2人と前年度の3.5人から0.3人減少した
- 特別養護老人ホームにおいて今年度に採用した新卒者は平均1.0人、うち介護職員は1.0人だった
 前年度と比較すると新卒者は0.1人減少、介護職員はほぼ同水準であった

【特別養護老人ホームにおける ICT 機器の導入状況等】

- ICT機器等*を導入していない施設は約3割あった。導入している施設において導入実績が多かったものとしては「タブレット端末」「見守り機器」があり、全体の約3割の施設で導入していた
*今次調査において対象とした ICT 機器・ロボット
- 導入してよかったものとしては「タブレット端末」「ロボット（入浴支援）」「見守り機器」等があり、その理由としては「業務の効率化」や「事故防止」、「職員の負担軽減」などが挙げられた

【社会福祉法人の動向】

- 業況のDIは、前回調査より6ポイント増加し、4となった
- サービス活動収益のDIは、前回調査より10ポイント増加し、△3となった
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査より5ポイント増加し、△15となった
- サービス活動増減差額（黒字・赤字）のDIは、前回調査とほぼ同水準の、15となった
- 資金繰りのDIは、前回調査より7ポイント増加し、△6となった
- 従業員数のDIは、前回調査とほぼ同水準の、△68となった
- いずれの項目においても見通しの数値は低下した

【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査より3ポイント増加し、△5となった
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査より2ポイント増加し、△12となった
- サービス活動増減差額（黒字・赤字）のDIは、前回調査より1ポイント増加し、13となった
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査より2ポイント増加し、△63となった
- 介護職員の確保のDIは、前回調査より1ポイント増加し、△86となった
- 人件費のDIは、前回調査より4ポイント増加し、49となった
- 稼働率のDIは、前回調査より6ポイント増加し、△10となった
- 他施設との競合のDIは、前回調査より3ポイント減少し、△37となった
- 待機者のDIは、前回調査より3ポイント増加し、△17となった

以上